



vol.25

119番通報は
あわてず早く
正確に!

市消防本部
☎ 0123

119番通報のついで

土岐市内から一般電話で119番をかけると、土岐市北消防署通信室へつながります。携帯電話から119番をかけると、多治見市消防本部通信室につながり、土岐市北消防署通信室へ転送されます。

土岐津・肥田・泉地区は北消防署から、下石・妻木・駄知地区は南消防署から、濃南地区は濃南分駐所から出動します。

119番入電があつてから現場に到着するまでの平均所要時間は、道路事情にも影響されますが、八分から十分です。

消防に対する

「ご意見・ご質問は」

北消防署 ☎ 0119
南消防署 ☎ 0119
濃南分駐所 ☎ 0119

火災の場合

消防署の問いかけ	通報者の通報内容
消防署です。火事ですか？救急ですか？	火事です。
発生場所は？目標物がありますか？ 電話番号は？	土岐市〇〇町〇〇番地です。 〇〇の付近です。電話は〇〇です。
何が燃えていますか？けが人はいませんか？	家が燃えています。怪我人はいません。
はい、分かりました。出動します。	

救急の場合

消防署の問いかけ	通報者の通報内容
消防署です。火事ですか？救急ですか？	救急です。
どうしましたか？	交通事故です。（「挟まれている」など、できるだけ内容を具体的に）
発生場所は？目標物がありますか？	土岐市〇〇町の〇〇の前の路上です。
怪我人は何人いますか？けがの状況は？	2人です。〇〇から出血してます。 意識はあります。
はい、分かりました。	

知って得する

No.8

暮らしのアドバイス

住宅の維持・管理 ～防湿と水回りのチェックを～

木造住宅は長持ちするといわれますが、その耐用年数は、構造や周囲の環境によって異なります。最近の一般的な木造住宅の場合、20～30年で建て替え時期を迎えることが多いようです。

しかし、住む人の管理が十分なら住宅の寿命をかなり延ばすことができます。普段からの点検や手入れのほか、台風や地震など自然災害の前後の対応によっても大きく差がつかます。9月の台風シーズンに備え、家の内外を点検してみましょう。

屋根は強い日差しや雨から暮らしを守る大切な役割を果たしています。瓦がずれたり、ひび割れていると雨漏りの原因になります。また、トタン屋根には、さびによる腐食の心配があります。屋根の上は時々

チェックし、不備があれば軒裏まで影響が及ばないうちに修繕しましょう。

雨どいは、ほこりや木の葉などがたまりやすいので、こまめに掃除をして通りをよくしておくことが大切です。といにできた小さなひび割れや穴などは、防水テープで簡単に修理できます。

外壁に破損があると、雨水が浸入して内部の腐食につながります。亀裂や傷は小さいうちに補修しましょう。5～10年に一度はコンクリートやモルタルの塗装、さびた金属部分の手入れなども行うように心掛けてください。

屋内での防湿も大切です。台所や浴室、トイレなどは湿気がたまりやすく、結露やカビが家を傷める原因になります。湿気対策はこまめに換気をすることが第一。台所で煮炊きする間や入浴後の浴室は、換気扇を回したり窓を開けたりして湿気を追い出す工夫を。

台所の流しや洗面台、洗濯機などの排水管に水漏れがないかチェックすることも大切です。

